

令和8年度 学校経営方針

1 学校教育目標

「夢や志をもち、在りたい未来を創造する児童の育成」
～ 共に挑戦し続ける 誉田っ子 ～

めざす児童像

- ① 進んで挨拶し、心を通わせ「絆」を深める子
- ② ふるさとを愛し、よりよい社会を「創造」しようとする子
- ③ 「志」をもち、自らの「在りたい未来」を切り拓く子
- ④ 正しく判断し、多様な人々と共に自律して歩む子
- ⑤ 生命を尊び、豊かな感性で共感し合える子

めざす学校像

- ① 「絆」を深め、共に「在りたい未来」を創造する学校
- ② 安全・安心の中で一人一人が輝く学校
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びが響き合い、主体性を育む学校
- ④ 地域と歩み、ふるさとへの誇りを未来の力へ繋ぐ学校
- ⑤ 誰もが大切にされ、夢や志に向かって挑戦できる学校

めざす教職員像

- ① 子どもの「在りたい未来」に寄り添い、共に歩む教職員
- ② 「絆」を大切にし、豊かな人権感覚を磨き続ける教職員
- ③ 専門性を高め、挑戦と創造を止めない教職員
- ④ 広い視野をもち、地域・社会とつながる教職員
- ⑤ 心身ともにウェルビーイングを体現する教職員

2 学校経営方針

① 「確かな学力」の育成（知）

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、1人1台端末を効果的に活用しながら児童が自ら学習を調整する力を育てる。

② 「豊かな心」の育成（徳）

自他の良さを認め合い、多様性を尊重する心を育てるとともに、地域学習や体験活動を通じ、地域への誇りと愛着を深める。

③ 「健やかな体」の育成（体）

体力向上とともに食育を推進し、生涯にわたる健康への意識を醸成する。

④ 地域・家庭との協働（社会的自立）

家庭や地域と連携しながら将来の「在りたい自分」を描く教育を推進する。

⑤ 安全・安心で魅力ある学校環境（教育基盤）

教職員の専門性を生かして組織的に児童を支援するとともに、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、活力ある教育活動を展開する。

3 令和8年度 実践の重点と具体的活動

(1) 自ら学びを調整し、未来を創造する力の育成

- ・児童が自らの学習状況を把握し、学習の進め方を調整する「自己調整学習」の推進
- ・1人1台端末を文房具として活用し、情報を精査・編集して新たな価値を創造する学習活動の展開
- ・国語科を中心とした、自分の考えを論理的に伝え、他者と対話する力の育成

(2) 他者を尊重し、「絆」を深める心の醸成

- ・自他のよさを認め合い、多様性を尊重する心を育む授業の充実
- ・震災30年の歩みを学び、自分や大切な人の命を守り抜く「生き抜く力」と「共生の心」の継承
- ・縦割り班活動や児童会活動を通じ、異年齢で協力し合う場を創出

(3) 生涯にわたる健康と安全を自ら守る力の育成

- ・リズムジャンプの活用等による基礎体力向上と、食育・健康教育の連動
- ・情報モラル教育（SNS等の安全利用）の徹底と、地域と連携した登下校時の安全確保

(4) 「ふるさと」への愛着とキャリア形成

- ・自然学校や環境体験等を通じ、兵庫の豊かな自然や文化を五感で学ぶ
- ・地域の人々の生き方に触れる活動を通じ、将来の「在りたい自分」を想像する機会の提供

(5) 一人一人に寄り添う児童支援

- ・「ほんだっ子5つの約束」を基盤に、誰もが安心して過ごせる「居場所」のある学校づくり
- ・スクールカウンセラー等、専門機関との円滑な連携による多角的な支援

(6) 特別支援教育の推進

- ・全ての児童にとって「分かる・できる」授業展開と、合理的配慮の提供
- ・教職員の専門性を高め、個々の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援

(7) 地域とともにある学校づくりの深化

- ・学校評議員会を核とした、地域とともにある教育活動の推進
- ・HPや学校だよりを通じ、学校の教育方針や児童の活動を積極的に発信することによる信頼関係の深化

(8) 魅力ある教育を支える「チーム学校」

- ・専門職としての使命感をもち、若手からベテランまでが学び合い高め合う職場文化の醸成
- ・業務改善による子どもと向き合う時間の確保と、心身の健康保持